

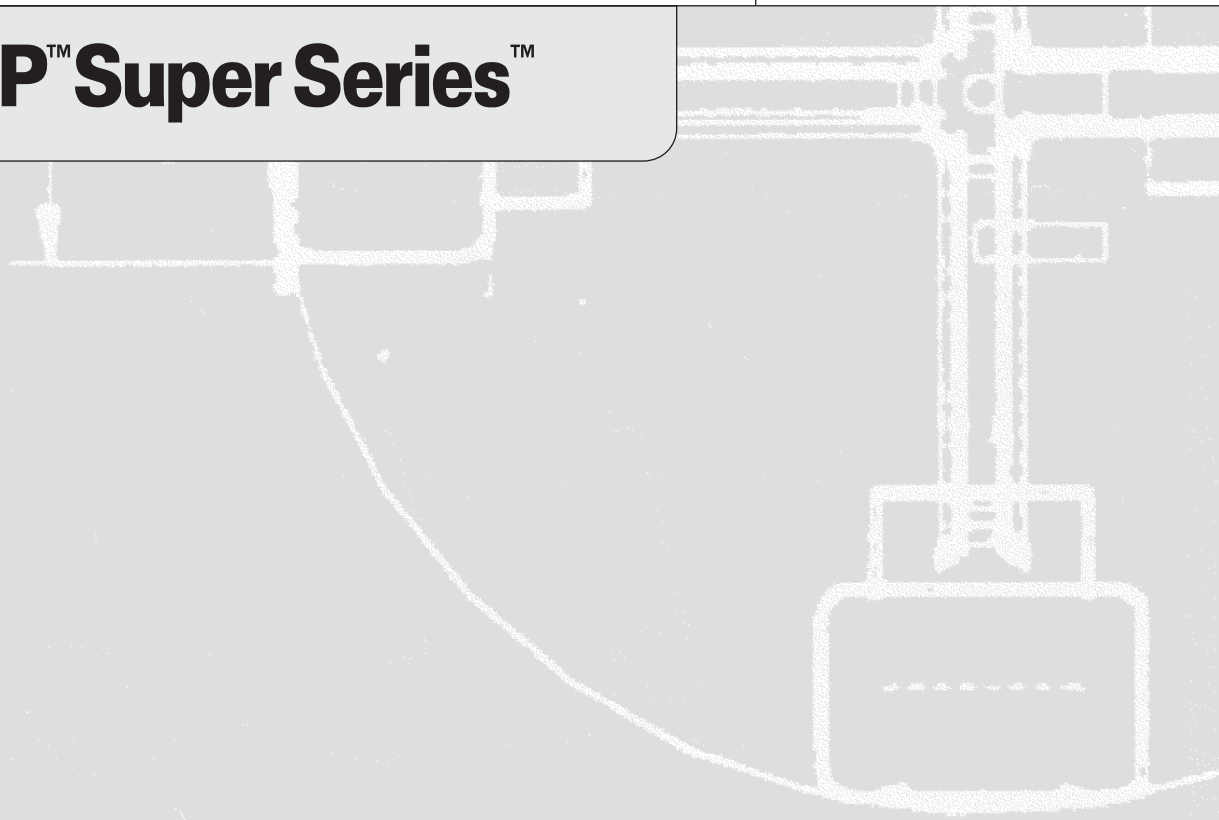
Genie®



操作説明書 メンテナンス情報付属

Second Edition
Fifth Printing
Part No. 48643JA

IWP™ Super Series™



重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。

トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。本説明書は機械の一部とみなされ、常に機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目次

	ページ
安全規則	1
操作	7
説明	8
操作前の点検	9
メンテナンス	11
機能テスト	13
作業場の点検	16
操作手順	17
バッテリーと充電器の操作手順	20
輸送手順	21
ステッカー	22
仕様	24

連絡先：

インターネット：<http://www.genielift.com>

電子メール：techpub@genieind.com


Copyright © 1996 Genie Industries

初版： 第 5 刷 1997 年 11 月

第 2 版： 第 4 刷 2002 年 1 月

第 2 版： 第 5 刷 2008 年 8 月

「Genie」および「IWP」は、米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。「Super Series」は Genie Industries の商標です。

 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

安全規則



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わない場合は、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件：

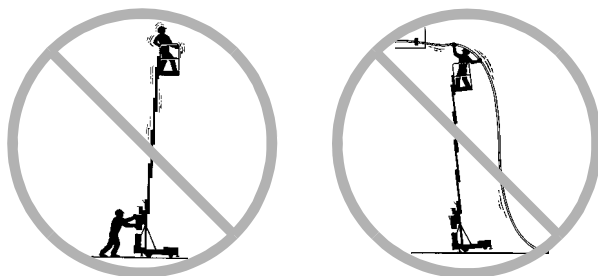
- 操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。
 - 1 危険な状態での使用を避ける。
次のセクションに進む前に、安全規則を理解し、心得てください。
 - 2 常に操作前の点検を行う。
 - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
 - 4 作業場を点検する。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。
- 下記をよく読み、理解し、服従する：
 - 製品使用説明書と安全規則－操作説明書と機械ステッカー
 - 従業員の安全規則と作業場所の規則
 - 適合する法規

安全規則

転倒の危険

機械がしっかりと平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上げないでください。

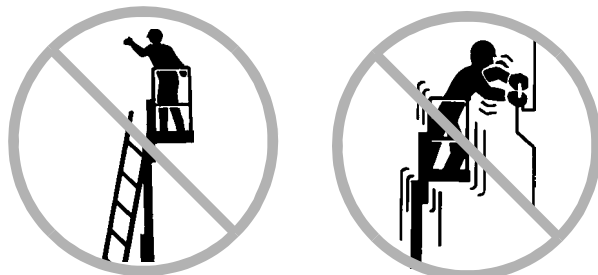
作業台が上がっている状態で機械を移動しないでください。



機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている荷やぶら下がっている状態の荷を上下しないでください。

機械から荷物をぶら下げたり、ぶら下がっている荷を機械に取り付けたりしないでください。

作業台にはしごや足場を組まないでください。また本機械のどの部分にも立てかけないでください。



作業台の外にあるものを押したり、引っ張ったりしないでください。

最大許容外力 200 N

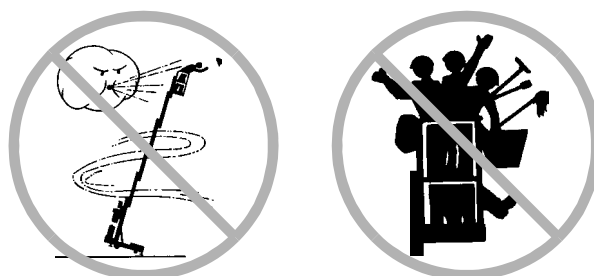
機材や装備を上げる目的で機械を使用しないでください。本機械は作業員や工具を高所作業場まで上げる目的でのみ使用してください。

急に低くなっているところ、くぼみ、でこぼこした道、障害物がある場所、不安定な地面、滑りやすい表面、あるいは他の危険な状態の近辺では機械を操作しないでください。

移動中または移動する可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

強風や突風の中で機械を操作しないでください。作業台の表面や積載床面を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が減少します。



定格作業台最大積載過重量を超えないでください。

最大積載重量-
ANSI & CE 159 kg

最大積載重量-
CSA 136 kg

最大積載重量
IWP-20S アウトリーチを搭載 136 kg

最大作業員数 1 名

安全規則

機械の安定性に重大にかかわる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

フォークリフトや他の輸送車両を使って機械を移動するときは、作業台を完全に下げ、機械の電源を切り、作業員が作業台を降りてから行ってください。

IWP-25S や IWP-30S にはアウトリーチを取り付けしないでください。アウトリーチは、カウンターウェイトが適切に構成されている IWP-20S にのみ使用してください。

落下の危険

作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。

作業台が上がっている状態で作業台から降りないでください。電源障害が起きた場合は、地上の作業員により手動降下バルブを作動してください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げてください。



感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流に接触した場合、あるいは近接する従業員の保護にはなりません。オプションのファイバーグラス製の作業台を搭載していても絶縁されていません。



機械が通电している電線に接触している場合、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで絶対に機械に触れたり操作しないでください。

適合する法規および次の表に従って、電線や機械から安全な距離を保持してください。

電圧範囲	安全上の最短距離 メートル
0~300V	接触を避ける
300V~50KV	3.05
50KV~200KV	4.60
200KV~350KV	6.10
350KV~500KV	7.62
500KV~750KV	10.67
750KV~1000KV	13.72

安全規則

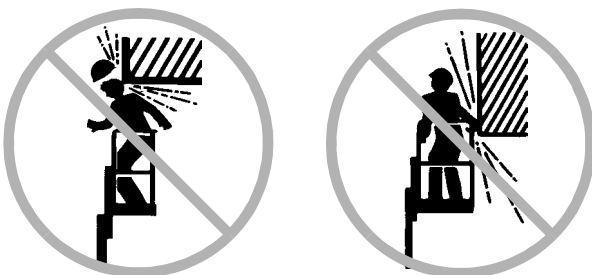
作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

溶接するときに機械にアースを接地しないでください。

AC 電源使用の機械や DC バッテリー充電器は、接地した AC 回路に接続したアース付 3 ピン延長コードを使用しない限り操作しないでください。アース付 3 ピンプラグを改造したり、使用不能にしないでください。

衝突の危険

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないかどうかチェックしてください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手にケガをしないよう注意してください。

作業台の下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめてから作業台を下げてください。

傾斜地あるいはその近辺で機械を操作する場合は、常識的な判断と手順をもって行ってください。



下降している作業台には近づかないでください。

機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

本説明書と Genie IWP Super Series サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、マストのマニュアル保管場所に置かれているようにしてください。

シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。

溶接するときに機械にアースを接地しないでください。

誤った使用による危険

関係者以外による使用をさけるため、機械から離れる際は、キーを取り外してください。

人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に飛び散ったり、やけどを負う原因となります。

アウトリーチの安全管理

人体への傷害の危険

次の動いている部分に手や足を近づけないでください：固定板、ロックブラケット、延長アーム。

パワーホイール補助の安全管理

衝突の危険

地面の状態、まわりの混雑具合、傾斜、人の位置など、追突の要因となるものを心得て、走行速度を制限してください。

機械を移動するときは、見通距離が制限されていることを心得てください。

作業台が上がっている状態で機械を移動しないでください。

傾斜面で機械を移動する場合は、傾斜の上側から機械を操作してください。

機械を傾斜面で停止する際は、ブレーキのみに頼らないでください。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および警報言語を使用しています。



安全警報シンボル — 作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルのあとに示された全ての安全警告に従ってください。

危険

赤 — 差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

警告

オレンジ — 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

要注意

安全上の警告シンボルを伴った黄色 — 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

要注意

安全上の警告シンボルがない黄色 — 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

注意

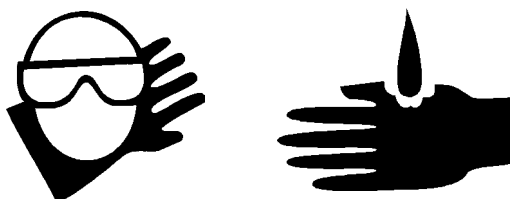
緑 — 操作情報またはメンテナンス情報を示します。

安全規則

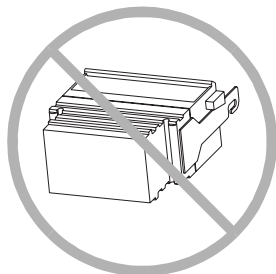
バッテリーと充電器の安全- DC モデル

熱傷の危険

バッテリーには酸が入っています。バッテリーに作業を行うときは、常に保護服と保護メガネを着用してください。



バッテリーの酸をこぼしたり、酸に触れないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。



バッテリーパックは常に直立した状態に保持してください。

爆発の危険



バッテリーは爆発性ガスを放出します。火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。

よく換気された場所でバッテリーを充電してください。

充電器がオンのときは、バッテリーから充電器 DC 出力配線を取り外さないでください。

感電の危険

充電器は、必ず接地されている AC 回路に接続してください。



充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

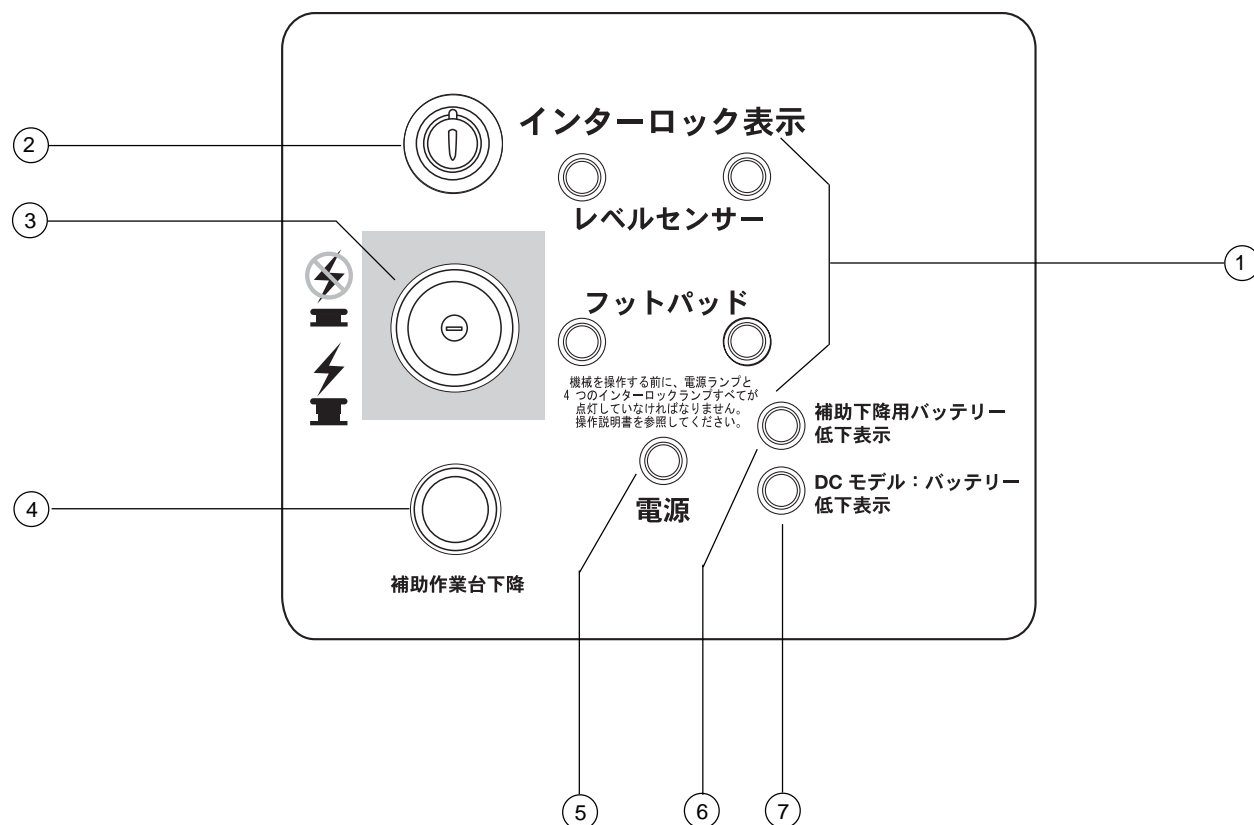
使用する前に破損している箇所がないか点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

リフトの危険

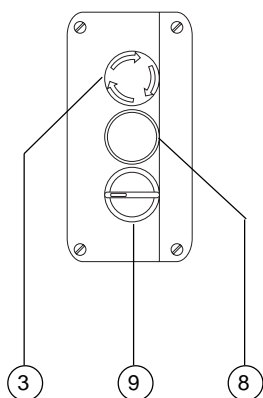
バッテリーパックの重量は 40.8 kg です。バッテリーを持ち上げるときは、適切な人数と手段により行ってください。

操作

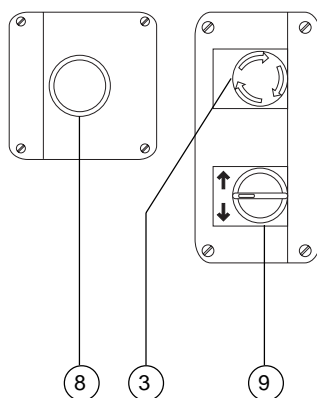
地上操作



作業台操作 - ANSI、CSA

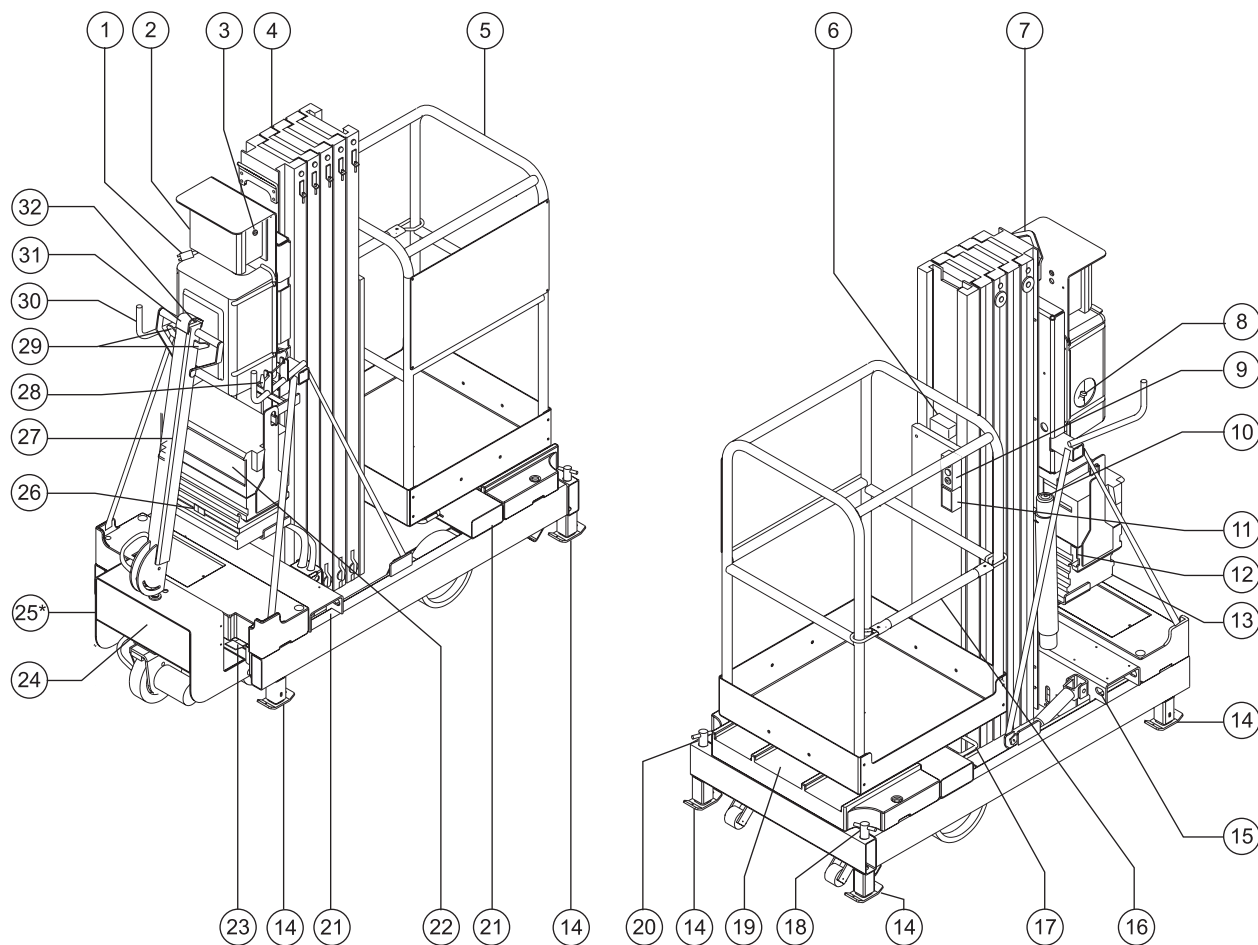


作業台操作 - CE



- 1 インターロックランプ (4)
- 2 キースイッチ
- 3 赤い非常停止ボタン
- 4 補助作業台下降ボタン
- 5 電源ランプ
- 6 補助下降用バッテリー低下表示ランプ
- 7 DC モデル：バッテリー低下表示ランプ
- 8 制御作動ボタン
- 9 上下スイッチ

説明



- | | | |
|--|------------------------|---------------------------|
| 1 AC モデル：AC 電源装置から機械への配線
DC モデル：電源から作業台への配線 | 11 AC コンセント | 24 パワーホイール補助 |
| 2 地上操作（インターロック表示） | 12 DC モデル：バッテリークイック取外し | 25 手動下降バルブ（* 油圧シリンダーの底） |
| 3 回路ブレーカー | 13 DC モデル：バッテリーパック | 26 バッテリーストラップ |
| 4 マスト | 14 フットパッド | 27 ステアリングハンドル - パワーホイール補助 |
| 5 作業台 | 15 輸送用の安全帯 | 28 ベース下降ハンドル |
| 6 操作説明書保管場所 | 16 作業台出入口中間レールまたはゲート | 29 機能作動レバー - パワーホイール補助 |
| 7 吊り金具 | 17 フォークリフト用リング | 30 ステアリングハンドル |
| 8 ブリーザーキャップ | 18 左側ジャッキ | 31 逆方向安全スイッチ - パワーホイール補助 |
| 9 作業台操作 | 19 カウンターウェイト | 32 ロッカースイッチ - パワーホイール補助 |
| 10 水準器/レベルセンサー | 20 右側ジャッキ | |
| | 21 フォークリフト用ポケット | |
| | 22 DC モデル：バッテリー充電器 | |
| | 23 フットペダル | |

操作前の点検



操作を行う必須条件：

操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解している。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、シフトの前にオペレータが目で見に行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、メンテナンスが必要かどうかを決めます。この説明書に記載してあるメンテナンス項目のみオペレータによって行えます。

次ページのリストで、部品が変更されていないか、損傷部品や緩んでいたり欠けている部品がないかをチェックしてください。

故障もしくは改造した機械は決して使用しないでください。もし工場出荷時の状態から損傷もしくは何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、マストの保管場所に保管されていることを確認します。
- ❑ すべてのステッカーは、文字が読める状態で所定の位置あるか確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- ❑ AC モデルと DC モデル：作動油の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ DC モデル：バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて蒸留水を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていないか、なくなっている部品がないことをチェックします。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ユニット、ホース、フィティング、シリンダー
- ❑ 油圧マニホールド、フットポンプ
- ❑ 作業台出入口中間レールまたはゲート
- ❑ シークエンスケーブルと滑車
- ❑ リフトチェーンとアイドル
- ❑ マスト柱とカウンターウェイト
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ ブリーザーキャップ
- ❑ フットパッド
- ❑ 調節可能摩耗板

搭載する場合：パワーホイール補助

- ❑ ステアリングハンドル
- ❑ 油圧モータとホース

搭載する場合：アウトリーチ付き IWP-20S

- ❑ ロックブラケット
- ❑ ハンドルとハンドルロック
- ❑ 延長アーム
- ❑ カウンターウェイトの適切な構成を確認（部品番号はカウンターウェイトの上に記載されています。）

ANSI、CE 屋内	前方部品番号	後方部品番号
IWP-20S 標準ベース	37354	37355
IWP-20S ワイドベース	40990	40991
CSA	前方部品番号	後方部品番号
IWP-20S ワイドベース	37357	37358

機械全体をとおして下記をチェックします：

- ❑ ヘこみや損傷
- ❑ 腐食や酸化
- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ バッテリー端子とすべてのバッテリーの配線を点検し、きれいにします。
- ❑ 機械を構成するどの部品も欠けておらず、適切なファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていることを確認します。

メンテナンス



必ず従うこと：

- ☑ この説明書に記載してあるメンテナンス項目のみオペレータによって行なうことができます。
- ☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

メンテナンス記号の説明

注意

次のシンボルは、指示の目的をわかりやすくするために本マニュアルで使用されています。メンテナンス手順のはじめにあるシンボルは、次を意味しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。

バッテリーのチェック- DC モデル



バッテリーが適切な状態になっていることは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。液量が適切でなかったり、ケーブルまたは接続が損傷していると、エンジン部品の故障につながり危険な状態を招くおそれがあります。



警告

感電の危険。熱くなっている回路やライブ回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計、その他の貴金属を全て外してください。



警告

人体への障害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり、酸に触れないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注意

このテストはバッテリーを完全に充電してから行ってください。

- 1 保護服と保護用メガネを着用してください。
- 2 バッテリー通気孔のキャップをとります。
- 3 バッテリーの酸の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに溢れないようにしてください。
- 4 バッテリー通気孔のキャップをつけます。

メンテナンス

作動油量の点検



作動油量を適切なレベルにしておくことは機械の性能にとって非常に重要です。作動油量が適切でないと油圧部品に損傷を与えることがあります。点検担当者は作動油量を毎日チェックすることにより、作動油量に変化がある場合には油圧システムでの問題を早期に見つけることができます。

- 1 作業台が完全に下がっていることを確認します。
 - 2 作動油タンク側面の表示計をチェックします。
- ◎ 結果：作動油量は、表示計の中間になっているはずですが、このときに溢れないようにしてください。

作動油の仕様

作動油タイプ	Dexron 相当
--------	-----------

定期保守点検

四半期ごと、1年ごと、2年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行ってください。

機能テスト



操作を行う必須条件：

操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 常に操作前の点検を行う。
- 3 使用前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解している。

- 4 作業場を点検する。
- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従って、全ての機能をテストしてください。

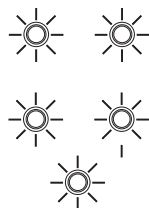
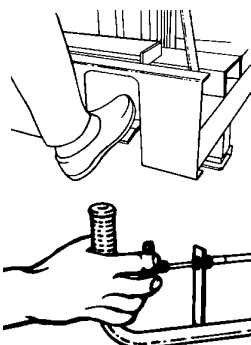
故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

機能テスト

機能テスト

- 1 障害物がない水平な場所でテストを行ってください。
- 2 フットペダルを足で数回踏んで、ベースを上げます。
- ◎ 結果：タイヤが地面に着きます。
- 3 ベース下降ハンドルを引いて、ベースを完全に下げます。
- ◎ 結果：4つのフットパッドすべてが地面にしっかりと着きます。
- 4 適切な電源を接続します。
- 5 水準器を使って、機械が水平になり、4つのフットパッドすべてが地面にしっかりと着くようにジャッキを調節します。
- 6 キーを挿入してオンの位置に回すか、作業台操作に切り替えます。
- 7 地上操作で赤い非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。
- 8 作業台操作で赤い非常停止ボタンを回して解除します。
- ◎ 結果：電源ランプが点灯します。1秒から4秒後に4つのインターロックランプすべてが点灯し、そのまま点灯し続けます。



インターロックランプのテスト

- 9 フットペダルを足で数回踏んで、ベースを上げます。
 - ◎ 結果：2つのフットパッドランプが消えます。
 - 10 ベース下降ハンドルを引いて、ベースを下げます。
 - ◎ 結果：2つのフットパッド表示ランプが点灯します。
 - 11 フットペダルを足で数回踏んで、ベースを上げます。
 - 12 両方のジャッキを時計回りに回し、完全に下の位置にします。
 - 13 ベース下降ハンドルを引いて、ベースを下げます。
 - ◎ 結果：ベースが下がり、2つのレベルセンサー表示ランプが消えます。ベースが水平でないため表示ランプは消えたままになります。
 - 14 作業台操作で、制御作動ボタンを押し、上下スイッチを上の方まで回し、その後、下の位置に回します。
 - ◎ 結果：上昇下降機能は作動しません。
- ### 非常停止のテスト
- 15 水準器を使って、機械の本体が水平になるようジャッキを調節します。4つの表示ランプがすべて点灯していることを確認します。
 - 16 地上操作で赤い非常停止ボタンを押します。
 - 17 作業台操作で、制御作動ボタンを押して、上下スイッチをそれぞれの方向に回します。
 - ◎ 結果：上昇下降機能は作動しません。
 - 18 作業台操作で赤い非常停止ボタンを押し、地上操作で赤い非常停止ボタンを引きます。
 - 19 作業台操作で、制御作動ボタンを押して、上下スイッチをそれぞれの方向に回します。
 - ◎ 結果：上昇下降機能は作動しません。

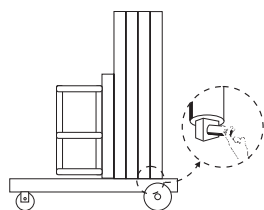
機能テスト

補助作業台下降のテスト

- 20 作業台を少し上昇させます。
- ◎ 結果：内側フレームタイヤが地面から離れます。
- 21 電源装置を機械から取り外します。
- 22 キースイッチを回して地上操作に切り替えます（搭載する場合）。
- 23 地上操作で補助作業台下降ボタンを押します。
- ◎ 結果：作業台が下降します。
- 24 電源装置を機械に接続します。
- 25 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます（搭載する場合）。
- 26 作業台を少し上昇させます。
- 27 電源装置を機械から取り外します。
- 28 作業台操作で、制御作動ボタンを押して、上下スイッチを下の方へ回します。
- ◎ 結果：作業台が下降します。
- 29 電源を機械に接続します。

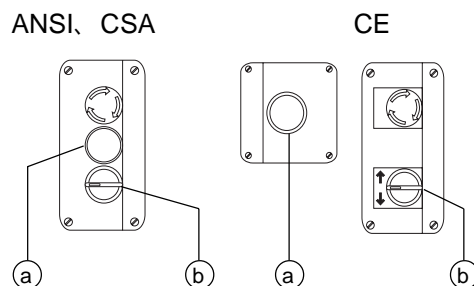
手動降下のテスト

- 30 作業台操作で赤い非常停止ボタンを回して解除します。インターロックランプと電源ランプが点灯していることを確認します。
- 31 制御作動ボタンを押し、上下スイッチを上の方まで回して作業台を約 15 cm 上げます。
- 32 油圧シリンダーの底にある手動下降バルブを作動させます。
- ◎ 結果：作業台が下降します。



作業台の上昇と下降のテスト

- 33 制御作動ボタンを押して、上下スイッチを上の方まで回します。



a 制御作動ボタン
b 上下スイッチ

- ◎ 結果：作業台は、反応が鈍くなく、スムーズに上昇します。
- 34 制御作動ボタンを押して、上下スイッチを下の方まで回します。
- ◎ 結果：作業台が下降します。

逆方向安全スイッチのテスト（パワーホイール補助を搭載するモデルのみ）

- 35 機能作動レバーを引き、どちらか一方に固定します。
- 36 ロッカースイッチを押し、機械を逆方向に走行します。
- 37 ステアリングハンドルの端にある逆方向安全スイッチを押します。
- ◎ 結果：機械は前方向に走行します。

作業場の点検



操作を行う必須条件：

操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 常に操作前の点検を行う。
- 3 使用する前に常に機能テストを行う。
- 4 **作業場を点検する。**

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解する。

- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

次の危険な状態に注意し、避けてください：

- ・ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ・ でこぼこした道および床の障害物
- ・ 破片
- ・ 頭上の障害物、高圧送電線
- ・ 危険な場所
- ・ 機械の重量に耐えられない地面の状態
- ・ 風や天候の状態
- ・ その他起こる可能性のある危険な状態

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が機械の安全操作に適切であるかを判断することができます。作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得たうえ、機械の移動、セットアップ、運転時に注意を払い、危険をさけてください。

操作手順



操作を行う必須条件：

操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 常に操作前の点検を行う。
- 3 使用する前に常に機能テストを行う。
- 4 作業場を点検する。
- 5 **決められた用途にのみ機械を使用する。**

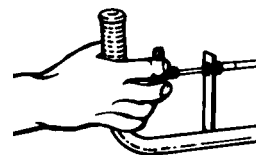
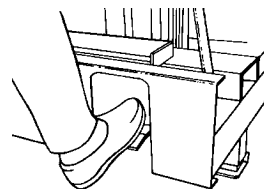
原則

作業員や工具を高所作業場まで上げる目的以外で機械を使用することは危険です。

2 人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行ってください。

セットアップ

- 1 フットペダルを足で数回踏んで、タイヤが地面に着くまでベースを上げます。
- 2 ステアリングハンドルを使って機械を押しします。
- 3 作業場の真下の平坦でしっかりしている地面に機械を置きます。
- 4 ベース下降ハンドルを引いて、4 つのフットパッドすべてが地面にしっかりと着くまでベースを下げます。
- 5 適切な電源装置を接続します。
DC モデル：バッテリーパックを接続します。
AC モデル：接地されている 15A の AC 電源装置に接続します。13 m 以下の 12 ゲージ / 3.3 mm² アース付 3 ピン延長コードを使用してください。
- 6 キーを挿入してオンの位置に回すか、作業台操作に切り替えます。
- 7 地上操作で赤い非常停止ボタンを引いて、電源ランプが点灯していることを確認します。
- 8 インターロック表示をチェックします。4 つの表示ランプがすべて点灯していることを確認してください。



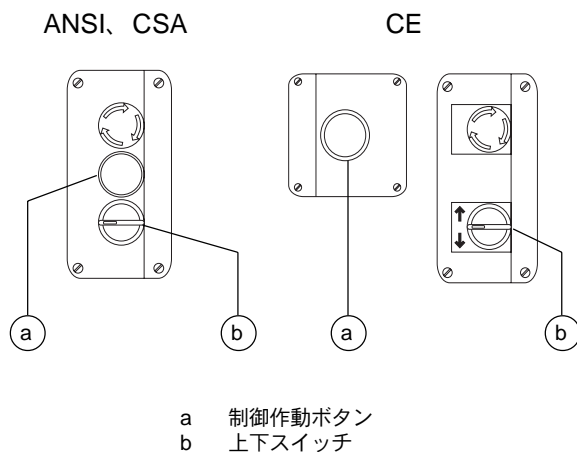
操作手順

非常停止

- 1 作業台操作あるいは地上操作で赤い非常停止ボタンを押し、上昇機能を停止します。

作業台の上昇と下降

- 1 作業台操作で赤い非常停止ボタンを回して解除します。
- 2 制御作動ボタンを押して、上下スイッチを任意の走行方向に回します。



補助作業台下降

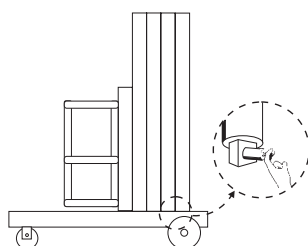
- 1 キースイッチを回して地上操作に切り替えませず（搭載する場合）。
- 2 地上操作で補助作業台下降ボタンを作動します。

使用後の注意

- 1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。
- 2 ベース下降ハンドルを引いて、4つのフットパッドすべてが地面にしっかりと着くまでベースを下げます。
- 3 関係者以外による使用をさけるためキーを取り外してください。
- 4 DCモデル：バッテリーを充電します。

手動下降

- 1 油圧シリンダーの底にある手動下降バルブを作動させます。



アウトリーチの操作手順

- 1 ロックブラケットを持ち上げます。
- 2 ハンドルを時計回りに回して作業台を伸長します。ハンドルを反時計回りに回して作業台を収縮します。
- 3 必ずハンドルをロックしてください。

CE モデル：アウトリーチを伸長しているときは、上昇下降機能が作動しません。アウトリーチを収縮して、作業台を収納します。

パワーホイール補助の操作手順

- 1 ステアリングハンドルを下げます。
- 2 機能作動レバーを引き、どちらか一方に固定します。
- 3 ロッカースイッチを任意の走行方向に作動します。
- 4 ロッカースイッチを解除します。ロッカースイッチが解除されると、機械は引き続き動きます。
- 5 機能作動レバーを解除して機械を停止し、ブレーキをセットします。

注記：ブレーキが機械を停止しておくことができる傾斜は、3°未満です。

パワーホイールアシストなしで機械を移動するには：機能作動レバーを引いたままの状態にし、ブレーキを解除します。

操作手順



バッテリーと充電器の操作手順

必ず従うこと：

- 外部充電池またはブースターバッテリーを使用しないでください。
- よく換気された場所でバッテリーを充電してください。
- 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。
- Genie 承認のバッテリーと充電器を使用してください。

バッテリーの充電

- 1 バッテリーにアクセスするためバッテリーパックの蓋を開けます。
- 2 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックします。必要に応じてプレートがかくれる程度に蒸留水を入れます。充電の前には入れすぎないでください。
- 3 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。
- 4 電源スイッチをオフの位置にします。DC 出力コードがバッテリーに正しく接続されていること確認します。
黒をマイナス、赤をプラスに接続します。
- 5 接地されている AC 回路に充電器を接続します。
- 6 搭載する場合：AC セレクタースイッチを適切な電圧に設定します。
- 7 電源スイッチを AUTO（自動）位置にします。

- 8 電流計で正確な充電率を確認します。初期の充電率は約 10A でなければなりません。バッテリーが完全に充電されるにしたがって充電率が下がります。
- 9 バッテリーが完全に充電されると、充電池のスイッチが自動的に切れます。電源スイッチをオフの位置にし、AC 電源から外します。
- 10 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに溢れないようにしてください。

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

- 1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取ります。
- 2 それぞれのセルにプレートがかくれるのに十分な程度のバッテリー液（電解液）を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、いっぱいに入れしないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液が溢れることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

- 3 バッテリー通気孔のキャップをつけます。
- 4 バッテリーを充電します。
- 5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに溢れないようにしてください。

輸送手順



必ず従うこと：

- ☑ クレーンやフォークリフトで機械を持ち上げるときは、常識的な判断と計画をもって機械の動きを制御してください。
- ☑ 運搬車は平坦な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せるときは、輸送車両が動かないよう固定してください。
- ☑ 輸送車両の容量、積載機材、積載面は、機械の重量を支えるのに十分なものでなければなりません。「仕様」のセクションを参照してください。
- ☑ 積載と輸送のすべての手順で、機械の本体は低く保たれていなければなりません。
- ☑ 機械の重量に十分に耐えることができるチェーンまたはストラップを使用して、輸送車に機械を固定してください。

プラットフォーム上への機械のウィンチ

- 1 作業台を下げます。
- 2 赤い非常停止ボタンを押し、キースイッチを回してオフの位置にしてキーを取り外します。
- 3 緩んでいたり、固定されていない箇所がないか機械全体を点検します。
- 4 ベースの前方にあるウィンチ個所にケーブルを取り付けます。
- 5 慎重に機械をウィンチで持ち上げ、トラックに乗せます。
- 6 機械の本体とマストを輸送車両にしっかりと固定します。積載荷重量に十分耐えられるチェーンやストラップを使用してください。

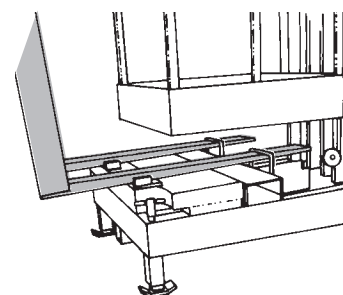
フォークリフトによる機械の積載

機械の両側にあるフォークリフト用ポケット、または作業台下のカウンターウェイトの後方にあるフォークリフト用リングを使用します。

機械に緩んでいたり固定されていない箇所がないか点検します。

フォークリフト用リングを使用する場合：

- 1 作業台を 7.5 cm 上げます。
- 2 フォークリフト用リングを上の方の位置にします。



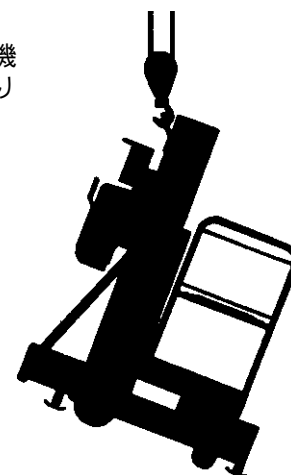
クレーンによる機械の積載

マスト柱の後ろに取り付けられた吊り金具を使用します。

機械をクレーンで持ち上げる前に、バッテリーパックを取り外してください。

機械に緩んでいたり固定されていない箇所がないか点検します。

吊り用フックは、常に機械と逆に向くように吊り金具に通してください。



ステッカー

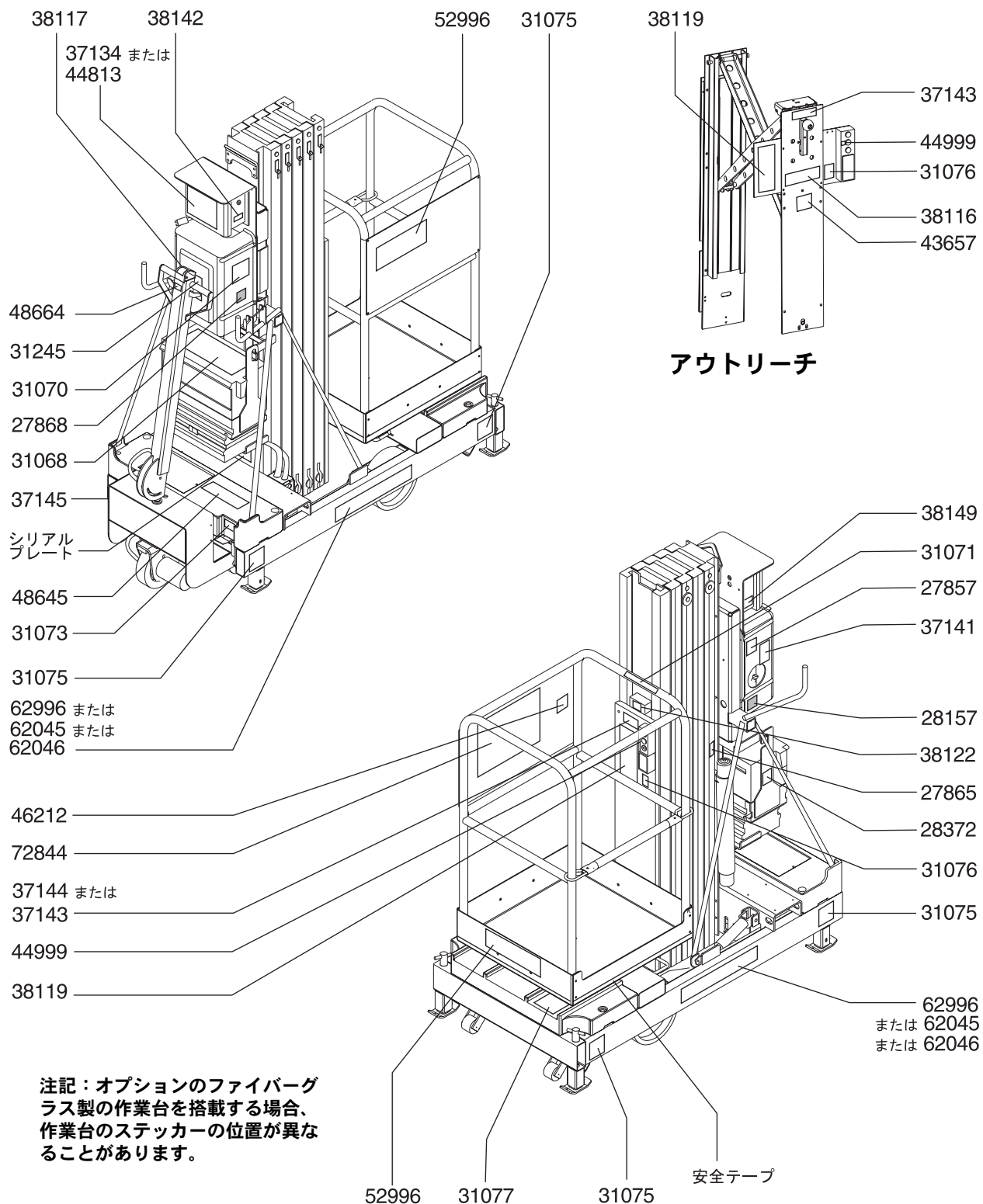
ステッカーの点検

次ページの絵を見て、ステッカーの文字が読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

品番	名称	数量
27857JA	要注意 - テーパーねじプラグ	1
27865JA	ラベル - 水準器	1
27868JA	危険 - 安全弁	1
28157JA	ラベル - Dexron	1
28372JA	要注意 - クイック取外し	1
31068JA	危険 - バッテリー充電器の安全	1
31070JA	危険 - 転倒の危険、移動中	1
31071JA	警告 - これを読まないで...	1
31073JA	ラベル - フットペダル	1
31075JA	要注意 - 落下の危険	4
31076JA	要注意 - 8A 最大、115V AC	1
31077JA	要注意 - 衝突の危険	1
31245JA	警告 - 衝突の危険	1
33550	安全テープ、CE	---
37134JA	ラベル - インターロック表示	1
37141JA	手動下降操作手順	1
37143JA	注意 - 最大積載重量 136 kg	1
37144JA	注意 - 最大積載重量 159 kg	1
37145JA	ラベル - 手動下降バルブ	1
38116JA	危険 - アウトリーチの安全管理と操作手順	1
38117JA	注意 - パワーホイール補助操作手順	1
38119JA	注意 - 操作手順	1
38122JA	ラベル - マニュアルの保管場所	1

品番	名称	数量
38142JA	ラベル - 回路ブレーカー (AC モデル)	1
38149JA	ラベル - 特許品	1
43657JA	危険 - 転倒の危険、アウトリーチ	1
44813JA	ラベル - インターロック表示	1
44999JA	ラベル - 制御作動	1
46212JA	注意 - 最大側方圧力 - 200 N	1
48644JA	ラベル - 機能作動レバー	1
48645JA	危険 - パワーホイール補助の安全管理	1
52996	外装 - Genie ロゴ	2
62045	外装 - IWP-25S	2
62046	外装 - IWP-30S	2
62996	外装 - IWP-20S	2
72844JA	危険 - 一般安全	1

ステッカー



仕様

モデル	IWP-20S	IWP-25S	IWP-30S ¹
高さ、操作時最大	8.1 m	9.3 m	10.8 m
高さ、作業台最大	6.2 m	7.4 m	9.0 m
リフト能力 - ANSI、CE	159 kg	159 kg	159 kg
リフト能力 - CSA	136 kg	136 kg	136 kg
リフト能力 アウトリーチ搭載	136 kg	—	—
電源			
DC モデル	12V	12V	12V
AC モデル	110V あるいは 220V	110V あるいは 220V	110V あるいは 220V
機械重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります)	シリアルプレート参照	シリアルプレート参照	シリアルプレート参照
高さ、収納時 ベースが完全に下/上の状態	1.9 m / 2.0 m	1.9 m / 2.0 m	1.9 m / 2.0 m
幅 - 標準ベース	81 cm	81 cm	—
奥行き - 標準ベース	1.5 m	1.5 m	—
幅 - ワイドベース	1 m	1 m	1 m
奥行き - ワイドベース	1.5 m	1.5 m	1.5 m
アウトリーチ伸長時	66 cm	—	—
角への接近距離 ²	15 cm	15 cm	18 cm

¹ IWP-30S はワイドベースのみ販売されています。

² ジャッキのハンドルが回転可能な位置での作業台上部手摺りの角から壁の角まで。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。製品の仕様は予告なく変更することがあります。

仕様

周囲操作温度	-29°C~57°C
騒音 標準的な作業場での最大音量（騒音レベル）	80 dB
作業台の寸法（奥行き x 幅 x 高さ）	
標準作業台 ゲートあるいはスライド式中間レール	69 cm x 66 cm x 1.1 m
ゲート付き超狭幅作業台	56 cm x 46 cm x 1.1 m
ゲート付き狭幅作業台	66 cm x 51 cm x 1.1 m
標準ファイバー作業台	74 cm x 67 cm x 1.1 m
狭幅ファイバー作業台	66 cm x 56 cm x 1.1 m
前方出入口ゲート付き 狭幅作業台	51 cm x 66 cm x 1.1 m
超大型前方および側方 出入口付き作業台	76 cm x 71 cm x 1.1 m

Genie Scandinavia
Tel. +46 31 575100
Fax +46 31 579020

Genie France
Tel. +33 (0)2 37 26 09 99
Fax +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberica
Tel. +34 93 579 5042
Fax +34 93 579 5059

Genie Germany
Tel. +49 (0)4202 88520
Fax +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.
Tel. +44 (0)1476 584333
Fax +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City
Tel. +52 55 5666 5242
Fax +52 55 5666 3241

Genie North America
Tel. 425.881.1800
フリー 米国およびカナダ
ダイヤル 800.536.1800
Fax 425.883.3475

Genie Australia Pty Ltd.
Tel. +61 7 3375 1660
Fax +61 7 3375 1002

Genie China
Tel. +86 21 53852570
Fax +86 21 53852569

Genie Malaysia
Tel. +65 98 480 775
Fax +65 67 533 544

Genie Japan
Tel. +81 3 3453 6082
Fax +81 3 3453 6083

Genie Korea
Tel. +82 25 587 267
Fax +82 25 583 910

Genie Brasil
Tel. +55 11 41 665 755
Fax +55 11 41 665 754

Genie Holland
Tel. +31 183 581 102
Fax +31 183 581 556

代理店：